

評価点	評価項目			記述項目一覧	調達仕様書 主な該当箇所	評価観点	得点配分		
	大項目	中項目	小項目E小項目				項目 加重点	項目評価点(満点 時)	
技術点	1	本業務の主旨・目的	1.1 本業務に対する理解	1.1.1 本業務の目的・概要についての理解	1. 本業務の背景と目的を踏まえて、 本調達に対する事業者 （以下「提案者」という。）の 理解 を記載すること。 2. 上記を踏まえて、 提案者における本調達の取組方針 を記載すること。	調達仕様書「1. 本業務の背景と目的」	1. 仕様書に記載している、本県の状況、次期システムに係る背景や方針を十分理解し、本業務の取組方針について提案されているか。	2	10
				1.1.2 システム化の実現方針	1. 「1.1.1.本業務の目的・概要についての理解」を踏まえた上で、システム化の実現方針を具体的に記載すること。 2. 提案するシステム化の実現方針の特徴、当該特徴が本県にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、具体的な根拠をもって記載すること。	調達仕様書「1. 本業務の背景と目的」	1. 上記本業務への取り組みの基本方針と合致したシステム化の実現方針が適切に記載されているか。 2. システム化の実現方針に関して、「特徴」が具体的に記載されているか。 3. 当該特徴が、本県にとって「有用性の高い効果（他事例との比較優位性）」をもたらすことが具体的に記載されているか。また、これらの効果を本県が享受できる「明確な根拠」が記載されているか。	4	20
	2	提案者に関する情報	2.1 提案者の概要	2.1.1 提案者に関する概要	1. 提案者に関する概要（企業概要、主要業務等）を記載すること。 2. 社員教育・機密保持・CSR等に対する企業の取組みや実績を記載すること。	-	1. 提案者に関する概要が記載されているか。 2. 社員教育・機密保持・CSR等に対する企業の取組みや実績が記載されているか。	2	10
				2.1.2 導入実績	1. 提案者の過去の類似案件について、当該実績（国、都道府県、政令指定都市等）、実施時期・期間、サービス内容（対象システム・規模）等を具体的に記載すること。 ・提案者が上記実績を有することにより、本業務を遂行するにあたってどのような特徴を有しているか、当該特徴が本県にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について具体的な根拠をもって記載すること。 -国、都道府県、政令指定都市 等への導入実績	-	1. 提案者の過去の類似案件について、当該実績（国、都道府県、政令指定都市等）、実施時期・期間、サービス内容（対象システム・規模）等が具体的に記載されているか。 2. 上記実績が、本県にとって「有用性の高い効果（他事例との比較優位性）」をもたらすことが具体的に記載されているか。また、これらの効果を本県が享受できる「明確な根拠」が記載されているか。	10	50
				2.1.3 参加資格等	1. 「入札説明書」で求める参加資格要件を満たしている具体的な根拠を記載すること。 2. 上記以外に、本業務を遂行するにあたって、提案者が有している有用な資格について、具体的に記載すること。	-	1. 「入札説明書」で求める参加資格以外に、本業務の実施にあたって有用な資格（プライバシーマーク、ISO9001、ISO20000、ISO14001、JIS Q 15001 等）を有しているか。	2	10
	2.2	業務推進体制	2.2.1 業務推進体制・責任者（構築、運用保守）	1. 本業務を推進するにあたっての、提案者側の体制、及び要員の役割・実績を記載すること(再委託する場合、委託先の企業名（団体名）、再委託する業務範囲、業務を再委託することが必要不可欠である理由を具体的に記載すること)。なお、構築、運用保守のそれぞれを記載すること。 2. 提案する業務推進体制が本県にとって有用であることを具体的に記載すること。 3. 本業務期間中に、提案した体制を維持することが可能であることの根拠を具体的に記載すること。 4. 共同事業体（ジョイントベンチャー：JV）の提案の場合は、各事業者プロジェクト責任者と、統括的な責任者となる者を記載すること。	調達仕様書「5.業務委託要件、6.運用保守要件」	1. 本業務を推進するにあたっての、提案者側の有効性の高い体制及び要員の役割・実績・保有資格・従事割合（専任/兼任）が記載されている。また、構築、運用保守のそれぞれが記載されているか。 - 各領域別の責任者が、本業務を実施するにあたり、有用な実績や資格を有している ・ 他団体（特に4,500人規模の団体）への経験がある ・ マネージャ・リーダーがプロジェクトマネジメント資格を保有している ・ ゼロトラストセキュリティ構築に関する経験を有している ・ コミュニケーションツール構築に関する経験を有している ・ リモートワークネットワーク構築に関する経験を有している ・ 庁内ヘルプデスク、IT運用代行支援等の設計に関する経験を有している ・ セキュリティ、クラウド、ネットワークの資格を保有している 等 - プロジェクト体制にメーカー専任サポートを含める場合に、明確な必要性が記載されている。 3. 特に、本業務の期間中に、提案した体制を維持できることが、具体的に記載されているか。 4. 本業務を遂行する上で、適切な業務推進体制及び責任者が確保されており、本県にとって「有用性の高い効果（他事例との比較優位性）」をもたらすことが具体的に記載されているか。また、これらの効果を本県が享受できる「明確な根拠」が記載されているか。	10	50	
			2.2.2 本県と事業者との役割分担/作業分担（構築、運用保守）	1. 本業務を推進するにあたり、本県と提案者の役割分担や作業割合について具体的に記載すること。特に、本県との窓口を担う業務遂行責任者（プロジェクトマネージャ）が、提案された業務推進体制を維持し、円滑にプロジェクトを推進するための具体的な取り組みについても記述すること。 2. 本県の作業負担を軽減するための有用な方法について、具体的な根拠をもって記載すること。	調達仕様書「5.業務委託要件」	1. 本業務を推進するにあたり、本県、提案者の役割分担や作業割合について適正に記載されている。また、構築、運用保守のそれぞれが記載されているか。 2. 各種機能（「コミュニケーションツール」「リモートワーク」等）や、これらと移行・連携する関係者（関係システム担当・事業者）等との役割分担や作業割合について適正に記載されているか。 3. 役割分担に関して、提案の「特徴（本県及び関係者等の負担軽減 等）」が具体的に記載されているか。 4. 当該特徴が、本県にとって「有用性の高い効果（他事例との比較優位性）」をもたらすことが具体的に記載されている。また、これらの効果を本県が享受できる「明確な根拠」が記載されているか。	4	20	

評価点	評価項目			記述項目一覧	調達仕様書 主な該当箇所	評価観点	得点配分	
	大項目	中項目	小項目E 小項目				項目 加重点	項目評価点 (満点 時)
3	調達仕様書要件に 対する提案	3.1 設計構築	3.1.1 システム全体構成	1. 本要件を踏まえたシステムの全体構成図（論理構成図、物理構成図、各機能の概要説明）等を記述すること。 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴について、具体的に記述すること。 3. 耐障害性、性能・拡張性等について、具体的な目標と根拠を記述すること。 4. サーバ統合基盤で払い出しが必要なリソース(CPUコア数、メモリ数、ディスク数等)について、具体的に記述すること。（様式6-2）	調達仕様書「2. 本業務の内容、3.機能要件、4.非機能要件」	1. 本県の要求事項を満たしていることがわかるようにシステム全体構成図等に記述されているか。 2. 当該要件に関して、提案の特徴とその効果が具体的に記述されているか。 3. 耐障害性、性能・拡張性等について、目標と根拠が具体的に記述されているか。 4. 各機能要件の実現方式等について、提案する機能の実現方式等が記述されているか。	4	20
			3.1.2 クラウド型コミュニケーション環境 (Microsoft365)による業務効率化・高度化	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 (1) コミュニケーションツールを活用して本県職員の新たな働き方に関する具体案 ※日々の業務の改善イメージ (ASIS, TOBE) ※定性効果、定量効果 など含む (2) B Y O D利用する上での具体的なイメージ (3) 個人メール、組織メール、組織メーリングリスト等の実現に関する具体案 (4) お知らせ等の実現に関する具体案 (5) グループチャット等の実現に関する具体案 (6) Microsoft365サービスの更なる活用余地に関する提案 (職員が自走してDXを推進するために活用できるサービス等) (7) 安全にコミュニケーションツール(クラウド)を活用するためのセキュリティ対策・手法 (IAM/クラウド認証、MFT/二要素認証、MDM/端末制御等) 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴、当該特徴が本県にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	調達仕様書「1.2. 本業務の基本方針、3. 機能要件」	1. 当該要件に関して、提案する機能の実現方法が記述されているか。 2. 当該実現方法は、仕様書に定義された内容を満たしているか。また、本県要求事項を満たす根拠が具体的に記述されているか。 3. 当該要件に関して、提案の特徴が具体的に記述されているか。 4. 当該特徴が、本県にとって有用性の高い効果（他事例との比較優位性）をもたらすことが具体的に記述されているか。また、これらの効果の本県が享受できる根拠（実績等）が明確に記述されているか。 5. 当該要件には示されていないが、本県にとって有用性の高い追加提案が具体的に示されているか。	28	140
			3.1.3 多様な働き方ができるリモートワーク環境の実現	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 (1) 庁外から安全にネットワーク接続するためのセキュリティ対策・手法 (VPN/ネットワーク暗号化、MDM/端末制御、MFT/二要素認証等) 等 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴、当該特徴が本県にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	調達仕様書「1.2. 本業務の基本方針、3. 機能要件」	1. 当該要件に関して、提案する機能の実現方法が記述されているか。 2. 当該実現方法は、仕様書に定義された内容を満たしているか。また、本県要求事項を満たす根拠が具体的に記述されているか。 3. 当該要件に関して、提案の特徴が具体的に記述されているか。 4. 当該特徴が、本県にとって有用性の高い効果（他事例との比較優位性）をもたらすことが具体的に記述されているか。また、これらの効果の本県が享受できる根拠（実績等）が明確に記述されているか。 5. 当該要件には示されていないが、本県にとって有用性の高い追加提案が具体的に示されているか。	28	140
		3.2 運用保守	3.2.1 運用保守計画	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 (1) 運用保守計画に関する基本的な考え方 (2) 運用保守計画に対する年次の見直し改善の考え方 (3) SLAの設定方針、達成に向けた取組みと年次の見直し改善等の考え方 等 2. 当該要件に関して、提案の特徴、当該特徴が本県にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	調達仕様書「6. 運用保守要件」、「6.5. サービスレベル合意 (SLA)」	1. 当該要件に関して、提案の実現方法が記述されているか。 2. 当該実現方法は、仕様書に定義された内容を満たしているか。また、本県要求事項を満たす根拠が具体的に記述されているか。 3. 当該要件に関して、提案の特徴が具体的に記述されているか。 4. 当該特徴が、本県にとって有用性の高い効果（他事例との比較優位性）をもたらすことが具体的に記述されているか。また、これらの効果の本県が享受できる根拠（実績等）が明確に記述されているか。 5. 当該要件には示されていないが、本県にとって有用性の高い追加提案が具体的に示されているか。	10	50
			3.2.2 運用保守作業	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 (1) 庁内ヘルプデスクを円滑に実施するための方策 (円滑な質問応対、職員問合せの軽減方法、ナレッジ管理、オペレーター教育等) (2) 運用作業代行を効果的に実施するための方策 (定形作業の自動化、作業者の教育、ナレッジ管理等) (3) その他支援(セキュリティ教育・訓練支援等)に実施するための方策 (標的型攻撃訓練、セキュリティ教育等) (4) 安定したシステム利用ができる／運用保守が実施されるための方策 等 2. 当該要件に関して、提案の特徴、当該特徴が本県にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	調達仕様書「6.2. 運用作業」	1. 当該要件に関して、提案の実現方法が記述されているか。 2. 当該実現方法は、仕様書に定義された内容を満たしているか。また、本県要求事項を満たす根拠が具体的に記述されているか。 3. 当該要件に関して、提案の特徴が具体的に記述されているか。 4. 当該特徴が、本県にとって有用性の高い効果（他事例との比較優位性）をもたらすことが具体的に記述されているか。また、これらの効果の本県が享受できる根拠（実績等）が明確に記述されているか。 5. 当該要件には示されていないが、本県にとって有用性の高い追加提案が具体的に示されているか。	26	130

評価点	評価項目			記述項目一覧	調達仕様書 主な該当箇所	評価観点	得点配分			
	大項目	中項目	小項目E 小項目				項目 加重点	項目評価点 (満点 時)		
		3.3	プロジェクト管理	3.3.1	プロジェクト計画・管理	<p>1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。</p> <p>(1) プロジェクト管理手法（進捗管理、品質管理、課題・リスク管理）の実施方針</p> <p>(2) 円滑なプロジェクト管理を行うための方策</p> <p>(3) 設置する会議体及び効率的な会議運営方法</p> <p>(4) 各ステークホルダーと円滑な連携を行うための方策</p> <p>(5) 本県の負担軽減策 等</p> <p>2. 当該要件に関して、提案の特徴、当該特徴が本県にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。</p>	調達仕様書「5.1.プロジェクト管理要件」、「5.1.5.コミュニケーション管理」、「6.1.3.会議体」	<p>1、当該要件に関して、提案の実現方法が記述されているか。</p> <p>2、当該実現方法は、仕様書に定義された内容を満たしているか。また、本県要求事項を満たす根拠が具体的に記述されているか。</p> <p>3、当該要件に関して、提案の特徴が具体的に記述されているか。</p> <p>4、当該特徴が、本県にとって有用性の高い効果（他事例との比較優位性）をもたらすことが具体的に記述されているか。また、これらの効果を本県が享受できる根拠（実績等）が明確に記述されているか。</p> <p>5、当該要件には示されていないが、本県にとって有用性の高い追加提案が具体的に示されているか。</p>	3	15
				3.3.2	スケジュール	<p>1. 仕様書に示す当該要件を実現するスケジュールについて、次の事項を含め具体的に記述すること。</p> <p>(1) 構築工程及び運用工程におけるスケジュール</p> <p>(2) 構築期間を有効的に活用するための方策</p> <p>(3) 段階的にサービス／機能をリリースするための方策</p> <p>(4) 本県職員及び各業務システム事業者等の負担軽減のための方策 等</p>	調達仕様書「2.本業務の内容」	<p>1. 作業工程及び重要ポイントが詳細に記載されているか。</p> <p>2. 各ステークホルダーのスケジュールと整合性のとれた計画となっているか。</p> <p>3. 構築期間を有効的に活用したスケジュールとなっているか。</p> <p>4. 本県職員及び各業務システム事業者等の負担軽減を意識したスケジュールとなっているか。</p> <p>5、当該要件には示されていないが、本県にとって有用性の高い追加提案が具体的に示されているか。</p>	2	10
				3.3.3	設計・テスト	<p>1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。</p> <p>(1) 品質目標を担保するための方策</p> <p>(2) 本県における検証作業の効率化</p> <p>(3) 本県の負担軽減策 等</p> <p>2、当該要件に関して、提案の特徴、当該特徴が本県にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。</p>	調達仕様書「5.業務委託要件」	<p>1、当該要件に関して、提案の実現方法が記述されているか。</p> <p>2、当該実現方法は、仕様書に定義された内容を満たしているか。また、本県要求事項を満たす根拠が具体的に記述されているか。</p> <p>3、当該要件に関して、提案の特徴が具体的に記述されているか。</p> <p>4、当該特徴が、本県にとって有用性の高い効果（他事例との比較優位性）をもたらすことが具体的に記述されているか。また、これらの効果を本県が享受できる根拠（実績等）が明確に記述されているか。</p> <p>5、当該要件には示されていないが、本県にとって有用性の高い追加提案が具体的に示されているか。</p>	2	10
				3.3.4	教育研修／定着・活用支援	<p>1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。</p> <p>(1) 職員が本システムの基本機能（メール、チャット等）を効果的に活用・習熟するための方策（職員が当たり前のように基本機能を利用できるようになるための定着方法 等）</p> <p>(2) 業務DX化を職員が自走して推進するための方策（Microsoft365等の各種ツールを高度に活用していくための工夫 等）</p> <p>2、当該要件に関して、提案の特徴、当該特徴が本県にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。</p>	調達仕様書「5.業務委託要件」	<p>1、当該要件に関して、提案の実現方法が記述されているか。</p> <p>2、当該実現方法は、仕様書に定義された内容を満たしているか。また、本県要求事項を満たす根拠が具体的に記述されているか。</p> <p>3、当該要件に関して、提案の特徴が具体的に記述されているか。</p> <p>4、当該特徴が、本県にとって有用性の高い効果（他事例との比較優位性）をもたらすことが具体的に記述されているか。また、これらの効果を本県が享受できる根拠（実績等）が明確に記述されているか。</p> <p>5、当該要件には示されていないが、本県にとって有用性の高い追加提案が具体的に示されているか。</p>	20	100
				3.3.5	データ移行・本番切替	<p>1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。</p> <p>(1) 適切かつ円滑にデータ移行・本番切替を実施するための方策（お知らせ、会議室予約情報、スケジュールを移行するための具体的策 等）</p> <p>(2) 移行データの取扱い及び整合性確認の方策</p> <p>(3) データ移行・本番切替における各ステークホルダーの役割</p> <p>(4) データ移行・本番切替における緊急対応計画(コンティンジェンシープラン)に関する考え方 等</p> <p>2、当該要件に関して、提案の特徴、当該特徴が本県にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。</p>	調達仕様書「5.業務委託要件」	<p>1、当該要件に関して、提案の実現方法が記述されているか。</p> <p>2、当該実現方法は、仕様書に定義された内容を満たしているか。また、本県要求事項を満たす根拠が具体的に記述されているか。</p> <p>3、当該要件に関して、提案の特徴が具体的に記述されているか。</p> <p>4、当該特徴が、本県にとって有用性の高い効果（他事例との比較優位性）をもたらすことが具体的に記述されているか。また、これらの効果を本県が享受できる根拠（実績等）が明確に記述されているか。</p> <p>5、当該要件には示されていないが、本県にとって有用性の高い追加提案が具体的に示されているか。</p>	3	15

評価点	評価項目			記述項目一覧	調達仕様書 主な該当箇所	評価観点	得点配分	
	大項目	中項目	小項目E小項目				項目 加重点	項目評価点(満点 時)
4	その他	4.1 追加提案	4.1.1 追加提案(費用内の提案)	1. 「大分類1～3」の記載項目以外で、本業務実施にあたっての更なる工夫・有用な提案があれば、具体的に記載すること(提案費用で実現するものに限る)。 例： ・ローコードツール/RPA活用を促進するための提案 ・EBPMを促進するための提案 ・AI活用を促進するための提案 等 2. 上記の根拠を具体的に記載すること。	—	・当該提案が、本県にとって「有用性の高い効果(他事例との比較優位性)」をもたらすことが具体的に記載されている。また、これらの効果を本県が享受できる「明確な根拠」が記載されているか。	12	60
			4.1.2 追加提案(費用外の有益な提案)	1. 「大分類1～3」の記載項目以外で、本業務実施にあたっての更なる工夫・有用な提案があれば、具体的に記載すること(提案費用で実現できないが有益な提案を対象)。 2. 上記の根拠を具体的に記載すること。 3. 上記に必要な費用を企画提案書内に記載すること。	—	・当該提案が、本県にとって「有用性の高い効果(他事例との比較優位性)」をもたらすことが具体的に記載されている。また、これらの効果を本県が享受できる「明確な根拠」が記載されているか。	8	40
							900	
価格点							600	
							600	